

## 学校関係者評価報告書(令和4年度)

令和4年度の学校評価委員会を開催し、「KCS鹿児島情報専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日 令和5年3月11日(土)

学校関係者評価委員……6名

学識経験者1名, 企業関係者1名, 高校関係者1名

地域住民代表1名, 卒業生代表1名, 保護者代表1名

### 評価コメント

評価	評価に係る提言・改善等
<p><b>(1)教育理念・目標</b></p> <p>教育理念はぶれることなく堅持されており、教育理念・人材評価目標を実現するために、教育課程を改善する仕組みが確立している。</p> <p>AI エンジニア育成の専攻が設置されるなど、時代に即した人材育成がなされている。</p>	<p>特になし</p>
<p><b>(2)学校運営</b></p> <p>昨年に続き「新型コロナウイルス感染を防止し、学びを止めない」学校運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・オミクロン株感染拡大により感染者は増加したが、学園の新型コロナウイルス対策マニュアルに沿って感染防止対策がしっかり行われている。</li><li>・休校、学級閉鎖、オンライン授業を実施するまでに至っていない。</li><li>・昨年以上の教育成果を達成している。</li><li>・1F 改修工事、別館増築など教育環境の設備改善が図られている。</li></ul>	<p>昨今の状況下で、入学生・在校生が増えることは素晴らしいことだ。引き続き教育環境整備を計画的に進めてほしい。</p>

<p><b>(3)教育活動</b></p> <p>概ね順調に教育成果を達成できている。</p> <p>新型コロナウイルスによる行動制限も徐々に緩和されたことから、「主体的学び」を意識した教育活動が少しずつ以前の状態に戻せたことは評価できる。</p>	<p>学生アンケートで見えた課題に対する改善に取り組み、引き続き県下 No.1 の教育成果を出せるよう取り組むこと。</p> <p>職業実践型授業をオンラインで実施するなど実践教育を止めることなく実施していることは評価できる。</p> <p>感染防止のために学生生活に制約はあると思うが、多様化する学生に対して、引き続き社会人基礎力の育成(特にコミュニケーション能力の育成)に取り組んでほしい。</p>
<p><b>(4)学修成果</b></p> <p>退学防止に向け担任の個別対応だけでなく、体制を作りチームで取り組んでいることは評価できる。</p> <p>退学防止の取り組みとして、<b>QU</b> アンケートの活用や、カリキュラム改善を行っているは評価できる。</p> <p>入試改革を行い、入学者の質を底上げして退学を減らす試みが検討されている。</p> <p>学科ごとに目指す <b>IT</b> 専門資格を取得し、概ね <b>I T</b> 関連企業に就職できている。</p> <p>応用情報以上の高度区分の情報処理技術者試験の合格者が九州 No.1 の成果を 2 年連続出せたことは素晴らしい。</p> <p><b>Web</b> を活用した就職環境や活動方法に変わってきているが、即時に対応し大きな影響は受けていない。</p>	<p>コミュニケーション能力を高めることが、就職の質の向上につながり、更に退学や離職を防ぐことになる。自発的に話す機会を与えるなど、常にコミュニケーション能力向上を意識した教育活動が求められる。</p> <p>外部コンテストへ参加させるなど、昨年の懸案事項に取り組んでいる。</p> <p>資格不合格者の対応は、慎重にしっかりと行うこと。</p> <p>企業としては国家試験以外のベンダー資格取得者も求めている。</p> <p>情報処理技術者試験の <b>CBT</b> 化の影響は大きいと考えるが、今後もしっかり対応してほしい。</p> <p>資格合格や就職内定報告会などを実施してほしい。</p>

<p><b>(5)学生支援</b></p> <p>高等教育段階の教育費負担軽減新制度がしっかり定着して利用者も多い。</p> <p>キャリアカウンセラーによる就職支援や教育カウンセラーによる支援が常時行われている。</p> <p>コロナ以前のボランティア活動斡旋はできていないが、献血への協力など可能な範囲での活動ができています。</p>	<p>成績不振で就学支援が打ち切られる学生を最小とすように取り組むこと。</p>
<p><b>(6)教育環境</b></p> <p>教具や設備の計画的な更新が行われている。バリアフリー化が見劣りするが、エレベーターが設置されていないため、改善には限界がある。</p> <p>実習用パソコンは、教育上必要十分な更新を行っている。</p> <p>インターンシップ活動は新型コロナウイルス感染のために縮小したのは止むを得ない。</p>	<p>1Fの改修により明るい印象になった。残りの改修についても計画的に進めるべきだ。</p> <p>在校生が増えているので、実習室の運用で不足が生じないように計画的にリプレースすること。</p> <p>インターンシップは就職に直結しなくても、学習意欲を高める効果が期待できる。</p>
<p><b>(7)学生の受入れ募集</b></p> <p>入試制度の見直しで質の高い入学生獲得のための展開が行われている。</p> <p>行事での在校生のリアルな声が、参加者に響いている。</p> <p>修業年数の長い課程は、他校にない強みであり、希望者が増えていることは評価できる。</p>	<p>女子学生を確保する工夫が更に求められる。</p> <p>種々の改革の成果が出て、入学者が増えているが、新型コロナウイルス感染拡大による地元志向が追い風になった面も可能性があり、しっかり評価・分析すること。</p> <p>修業年数の長い課程の入学者が増えれば、在籍者が増えると共に、教育成果向上につながる。</p>

<p><b>(8)財務</b></p> <p>18 歳人口減少、大学進学率増により収益環境は厳しくなることが予想される。また、物価高騰の影響も大きくなると思われるので、固定費の削減・経費節約に努め、教育の質を低下させないよう取り組むこと。</p>	<p>設備の老朽化も進むと思われるため、計画的な営繕に取り組むべきだ</p>
<p><b>(9)法令等の遵守</b></p> <p>学園のモットーである職業倫理と Quality Firest が浸透している。</p>	

以上